

子どもたちが熟議をするとき

～民主主義と教育の前提を問い直す～

講師：西山溪氏（開智国際大学）

日時：7月26日（土）13：00～15：00

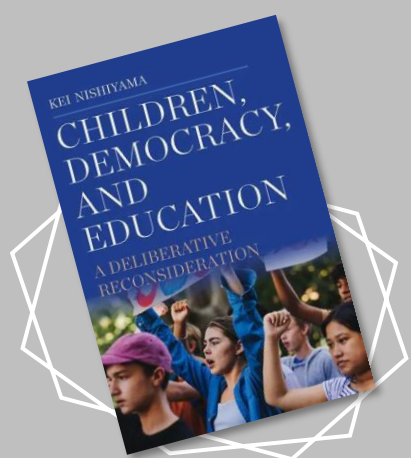
オンライン開催（Zoomミーティング）

司会：川口広美（広島大学）

田中峻斗（広島大学大学院・

日本学術振興会特別研究員）

指定討論者：草原和博（広島大学）



「子どもたちは民主主義教育を通して善き市民となるべきだ」という言説は教育や政治の領域で広く語られてきました。しかし、そこで前提とされている子ども観や民主主義観には再考の余地がありそうです。

子どもは「将来の市民」なのか？そもそも、「どの」民主主義を、どのように学ぶことを決めるのは誰か？

著書“Children, Democracy and Education: A Deliberative Reconsideration (SUNY Press 2025)”の内容をもとに、本講演では理論と実践の両面からこれらの問いについて考えていきます。

【主催】SIP第3期研究開発テーマ「デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校」（研究開発責任者：草原和博）

【後援】広島大学教育ヴィジョン研究センター



問い合わせ先：広島大学EVRI-SIP運営オフィス
sipstaff-evri@ml.hiroshima-u.ac.jp

こちらから参加申し込みできます→

申し込み後、接続情報をお知らせします

